

2023年度第3四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

日時 : 2024年2月13日（火）16時00分～17時00分
当社出席者 : 常務取締役 古川敏之、常務取締役 大治良高

主な質疑応答 :

【全体】

- Q) 2023年度第3四半期実績について、想定との差異はあったか。
A) おおむね想定通りの着地となった。セグメント別に見てもほぼ想定線だった。
Q) 棚卸資産が高水準になっていないか。
A) 為替影響による増加も含まれているが、全体的に高い水準にあると認識。時計事業は2023年度第4四半期の中で調整しながら適正化を図っていきたい。

【時計事業】

- Q) 北米市場の状況について。
A) 百貨店や宝飾チェーンなどの実店舗販売がやや厳しかったが、EC販売や直営店販売の好調さで補うことができた。今後も想定線での推移が続く見通し。
Q) 中国市場の状況について。
A) 独身の日の販売は振るわず、イベント効果が期待しづらくなっている。2023年度第3四半期は、前年に実施されたロックダウンからの反動もあり増収となった。厳しい状況にあるが少しずつ回復に向かって行くと見ている。
Q) 国内市場においてインバウンド需要の状況はどうだったか。
A) 中国人観光客の回復は想定に届いていないが、東南アジア、欧米諸国からの観光客が増えており、着実に回復している。

【工作機械事業】

- Q) 受注回復のタイミングについて見通しはあるか。
A) 2023年度第2四半期に底打ちしたと捉えている。しばらくは安定的な受注が続くと見ており、緩やかではあるが回復に向かっていると認識。
Q) リードタイムについて。
A) おおむね4-5ヵ月程度。標準的なリードタイムになりつつある。